

ヲ掛タルアリ、

縉紳家及僧侶ノ挾筥ニハ、専ラ紐アリ、

又江戸市民ハ年始回禮ニ出ルニ、主人麻上下手代一人、丁兒一人挾箱持一人、犬中戸ノ者如此、小戸ハ略之、挾筥持爲人足ノ頭也、家號アル熏草大羽折ヲ著セル、挾筥ニハ年玉ノ扇等ヲ納ム、京坂無之、又三都トモ葬送ニハ挾筥ヲ用フ、今世其他事不用之、

女用挾筥ニハ、黒無地或ハ黒塗ニ、徑二寸許ノ定紋ヲ數々散描ク、蓋必ラズ油單ト號ケテ覆ヲ掛ル也、前ニモ云ル如ク、乗物日覆猩々、緋ノ時ハ、挾筥覆同製白ラシヤ切付ニテ定紋ヲ描ク、或ハ先筥後筥トモニ、紺萌木等ノラシヤ白切付紋モアリ、年齢ニヨリ如此歟、

幕府以下宗室國主大名等上輩女房ノ挾筥、緋ヲ用ヒズ、他色ノラシヤニ白切付定紋也、

高貴ノ婦女潛行ニモ、對後筥モアリ、或ハ後筥一ツヲ用フモアリ、此時ハラシヤハ稀ニテ、専ラ中形地紋同色ノ純子也、紋品ニヨリ地紋他色モアリ、定紋ハ描カズ、

〔槐記〕享保九年十二月七日當職

○關白近衛家照

ノ初ヨリ、火事、挾箱ト名付テ、非常ノ爲ニコシラヘテ、兼

テ用意セシニソノトキ初テ御用ニ立タリ、一方ニハンレゾレノ私具、一方ニハ茶碗茶臺ヲ初テ、御膳ノ具マデ、新調ヲ一通リ入テ、カリニモ次ニセズシテ用意ス、東山院鴨ノ川原ノ中途御渴アリ、湯ヲ聞シ召ント詔アリシニ、幸ニシテ茶辨當ハアリケレドモ用意ノ具ヤナカラントヒシメク、彼新調ヲ獻上ス、手柄ヲシタリ、スナハチ今ノ左府○近衛マデニ云傳テ、此ノ非常ノ具ヲ用意スト仰ラル

〔大江俊矩記〕文化六年十一月廿七日癸未、岩橋へ、箆筒、長持、油單、女挾箱、帔等一ツ、拜借、

〔將軍徳川家禮典附錄十一〕右大將様○徳川家定御婚禮之次第、

天保十二辛丑年五月廿八日略○中